

# Mr. Bassman (ベースマン列伝) Vol.39

ジャズにおいてベース弾きとは、縁の下の力持ち、水先案内人といったやや日陰の存在。おまけに、ウッドベースなら持ち運びも大変…。だが、黙々とベースをウォーキングさせ、バンドをスイングさせることに魂を注ぐベースマンが、一度化けの皮を剥くとももの凄い名演・名盤が生まれるのだ。このコーナーでは、そんなジャズ・ベースマンの偉業を称えるとともに、ジャズ・ベースの素晴らしさを伝えていきたい。

## Buster Williams 【バスター・ウィリアムス】

### Profile

1942年4月17日生まれ。米国ニュージャージー州カムデン出身。本名は Charles Anthony Williams, Jr.。バスター (Buster) はニックネーム。ベーンストだった父親の影響で幼い頃からジャズに親しむ。59年からジミー・ヘース (ts) のバンドで演奏し、翌60年ハイスクール卒業直後にジーン・アモンズ (ts) とソニー・ステイット (as) 等と共演し始める。その後、地元カムデンに戻り、フィラデルフィアの「Combs College of Music」で作曲・和音・理論を学ぶ。62年にベティ・カーター (vo)、サラ・ヴォーン (vo) のバンドで活動。64年にナンシー・ウィルソン (vo) との活動を機にロサンゼルスに移住。この間、ナンシー・ウィルソンをはじめ、ジャズ・クルセイダーズ (計5枚のアルバム)、マイルス・デイヴィス (tp) のレコーディングに参加。その他、ケニー・ドーハム (tp) との共演やスタジオやテレビ、映画の仕事もこなす。68年にニューヨークに移り、アート・ブレイキー (ds) やハービー・マン (fl) 等と共演する他、ハービー・ハンコック・セクステットでも活躍。75年に初リーダー・アルバム『ピナクル』発表。80年代以降も自己のグループをはじめ、ハンク・ジョーンズ (p)、フレディ・ハバード (tp)、ロン・カーター (b)、ウイントン・マルサリス (tp) 等と共演。72歳を迎えた現在も精力的にライブ活動を行っている。



### 独特の音色と大胆不敵なプレイが魅力のいぶし銀のベースマン

同業のベーンストたちからも高く評価されるバスター。意外に知られていないが、映画やTV関連の仕事も数多くこなしている。1969年のアメリカ西部劇映画『マッケンナの黄金』の音楽ではクインシー・ジョーンズと共演。1990年代には『ツイン・ピークス』のサントラ。1995年のスパイク・リー監督映画『クロッカーズ』の音楽。2004年のスティーブン・スピルバーグ監督映画『ターミナル』では自分自身として出演も果たしており、テレビでは人気番組『トゥナイト・ショー』でブランフォード・マルサリス率いるハウス・バンドのメンバーとして出演。

その他、コカ・コーラ、バドワイザー、オールドスパイス、ケミカル・バンク等のTVCMでも演奏している。1980年にはハンク・ジョーンズ (p) とトニー・ウィリアムス (ds) との“ザ・グレイト・ジャズ・トリオ”名義のアルバム『ラヴ・フォー・セール』がグラミー賞にノミネートされた。

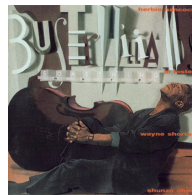
### BW's Great Albums

ここに紹介した作品以外にも多くのリーダー・アルバムを発表しており、サイドマンとしてもロン・カーターやハービー・ハンコック等のアルバムでいぶし銀の存在感を放っている。



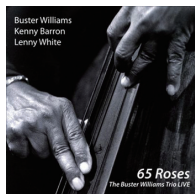
**ピナクル**  
バスター・ウィリアムス  
(Muse : MR-5080 [Import LP])

バスターの強靭なベースを前面に押し出した記念すべき初リーダー・アルバム。骨太なスピリチュアル・ジャズ・サウンドが充満。1975年録音。



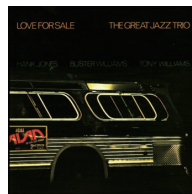
**サムシング・モア**  
バスター・ウィリアムス  
(In And Out : IOR-7004 [Import CD])

ハービー・ハンコック、ウェイン・ショーター、アル・フォスターに大野俊三 (tp) も参加したバスターの6枚目のリーダー・アルバム。1989年録音。



**65 ローゼス**  
バスター・ウィリアムス  
(BluePort : BPJ-016 [Import CD])

ケニー・パロン (p)、レニー・ホワイト (ds) とのトリオによる作品。2006年のカリフォルニアでのライブ音源を収録。現時点でバスターの最新作。



**ラヴ・フォー・セール**  
ザ・グレイト・ジャズ・トリオ  
(East Wind : EW-8046)

ハンク・ジョーンズ (p) とトニー・ウィリアムス (ds) との“ザ・グレイト・ジャズ・トリオ”名義のアルバム。グラミー賞ノミネート作品。1976年録音。